

さあ、新しい次元へ
豊かな実りにつながる新しい効き目

疫病・べと病用殺菌剤

「デュポンTMゾーベック[®]エニケード[®]」

デュポンTMゾーベック[®]エニケード[®](以下ゾーベック[®]エニケード[®])は4月13日付で農薬登録を取得した新規の作用機構を持つ殺菌剤です。新規有効成分 オキサチアピロリンが疫病やべと病などの病原菌である卵菌類に対して効果を発揮します。

特長① 優れた上方移行性
疫病菌・べと病菌に対する基礎活性が高く、極めて少ない用量で病原菌生活環におけるさまざまなステージに作用。病気の発生しやすい条件の中でも優れた防除効果を発揮します(図1)。

特長② 優れた葉面浸透性
散布時に展開中、あるいは未展開の新葉にも有効成分が行き渡ります。新葉が展開する栄養成長期においても、作物を病害からの確に保護できます(図2)。

特長③ 優れた耐雨性
散布後、有効成分の大部分は葉の表面のワックス層にすばやく吸収され、優れた耐雨性を発揮します(図4)。

特長④ 既存殺菌剤の耐雨性も有効
これまでの殺菌剤とは作用機構ならびに作用部位がまったく異なるため、既存殺菌剤との交差耐性がありません。各既存剤感受性菌、耐性菌を問わず、高い防除効果を発揮します。

特長⑤ 適用作物への高い安全性
これまでの委託試験、社内試験で害草が認められた事例はなく、適用作物に対する安全性は高いと考えております。

特長⑥ 生物・周辺環境への高い安全性
哺乳類、鳥類、魚類に対する毒性が低

ばれいしょにおける使用上のポイント
開花前の栄養成長後期、疫病の初期感染が懸念される時期のご使用をおすすめします。初期感染を確実に抑え、疫病の進展を防止します。
発病前に予防的に使用し、7~10日後には次の疫病防除剤を散布してください。
疫病専用剤です。菌核病、軟腐病、夏疫病など他病害には効果がありません。他の有効薬剤と組み合わせで使用してください。

過度に本剤に頼って病害防除を行うと耐性菌が発現するリスクが増大し、防除効果が低下する恐れがあります。耐性菌管理方針を守り、適切にお使いください。

耐性菌管理方針

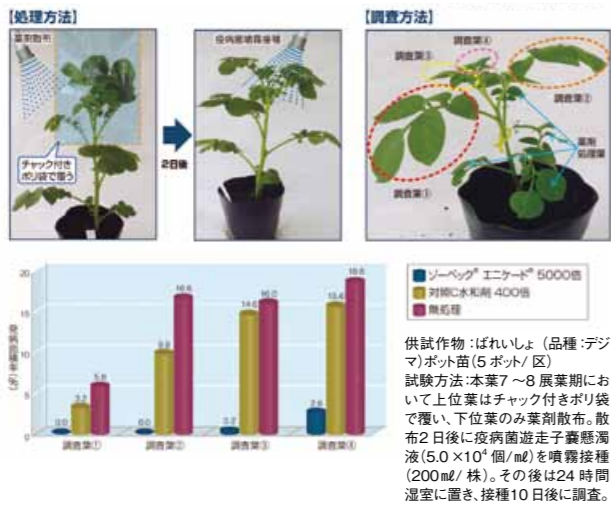
- ラベル記載の薬量(希釈倍数)を遵守し、推奨する散布間隔(7~10日)を守って使用してください。
- 栽培期間の前半に使用してください。防除の序盤に使用することで作物保護効果を高めつつ、病原菌が薬剤に暴露される機会を制限することができます。
- 異なる作用機構を持つ、疫病・べと病に有効な殺菌剤と体系(ローテーション)で使用してください。本剤散布以降、体系の中に治療効果のある殺菌剤を組み入れることで耐性菌管理をより効果的に行うことができます。
- 病徴が発現する前に予防的に使用してください。病徴発現以降は本剤の散布適期ではありません。十分な効果が得られないばかりか、耐性菌発現のリスクが急激に高まります。ご注意ください。

上記の耐性菌管理を行うことにより、登録の使用回数(2回以内)であれば耐性菌発現のリスクは減少します。

■表1 登録内容

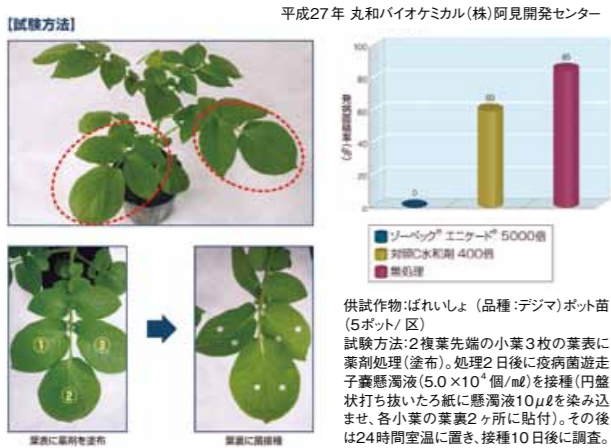
作物名	適用病害名	希釈倍数	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサチアピロリンを含む農薬の使用回数
ばれいしょ	疫病	5000倍	100~300g/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
トマト							
きゅうり	べと病	5000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
ほくさい							
レタス	べと病	5000倍	100~300g/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
ぶどう							

■図2 上方への移行性
有効成分オキサチアピロリンは散布後、茎葉部分から植物体内に吸収され、すみやかに上方移行し、上位葉及び新たな展開葉を的確に保護します。
平成27年 丸和バイオケミカル(株)阿見開発センター



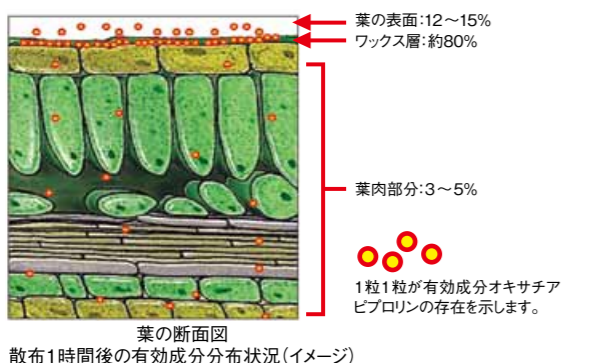
■図3 葉面浸透性

葉の表面に処理した本剤の一部は葉の内部へ浸透し、裏面に到達します。処理面と反対側の葉裏を保護することが可能です。



■図4 耐雨性

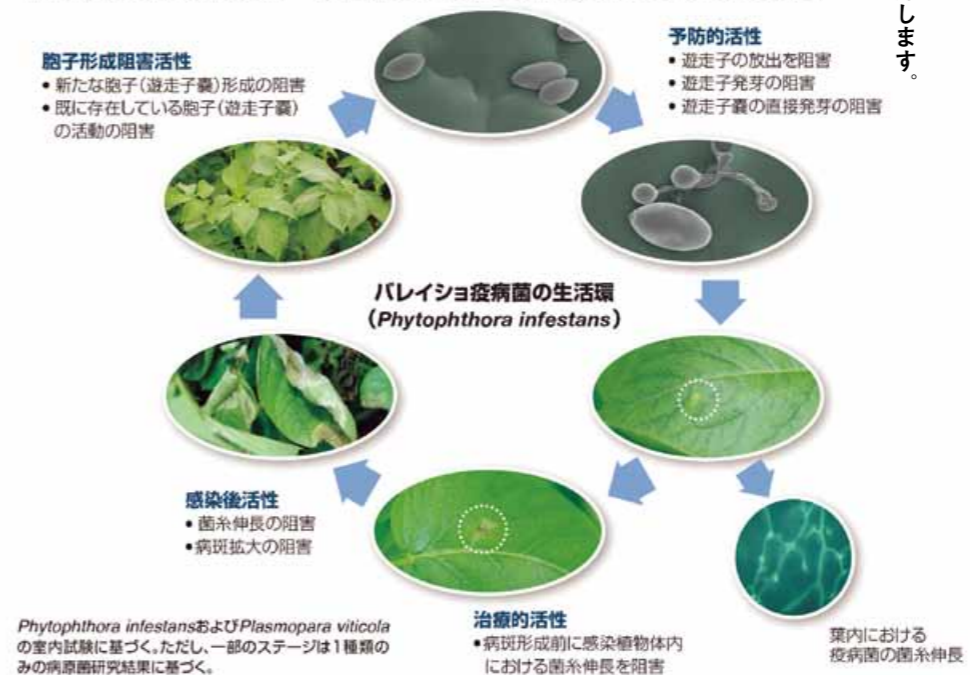
耐雨性は有効成分の植物細胞内への浸透速度と関係します。散布後、有効成分オキサチアピロリンの大部分は葉の表面のワックス層にすばやく吸収され、優れた耐雨性を発揮します。散布1時間後以降の降雨は防除効果にほとんど影響を与えません。



※別段の表記がない限り、®または™を付した商標は、米国デュポン社又はその関連会社の商標又は登録商標です。

■図1 生活環の各ステージに対する作用

病原菌生活環におけるさまざまなステージに作用することで、卓越した防除効果を安定して発揮します。



丸和バイオケミカル株式会社